

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	当栄ケミカル株式会社					
代表者名	氏名	佐藤忠彦	役職名	代表取締役 社長		
主たる事務所の所在地	大阪市淀川区西宮原1-8-10ヴィアノード新大阪7階					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	16 化学工業				
主たる事業の概要	精油メーカー（植物油）で発生する油滓から脂肪酸を製造。					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	2,178	2,000	2,143	2,607	2,396
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4,777	4,297	4,682	5,662	5,188
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	1		1	1	1
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	2				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

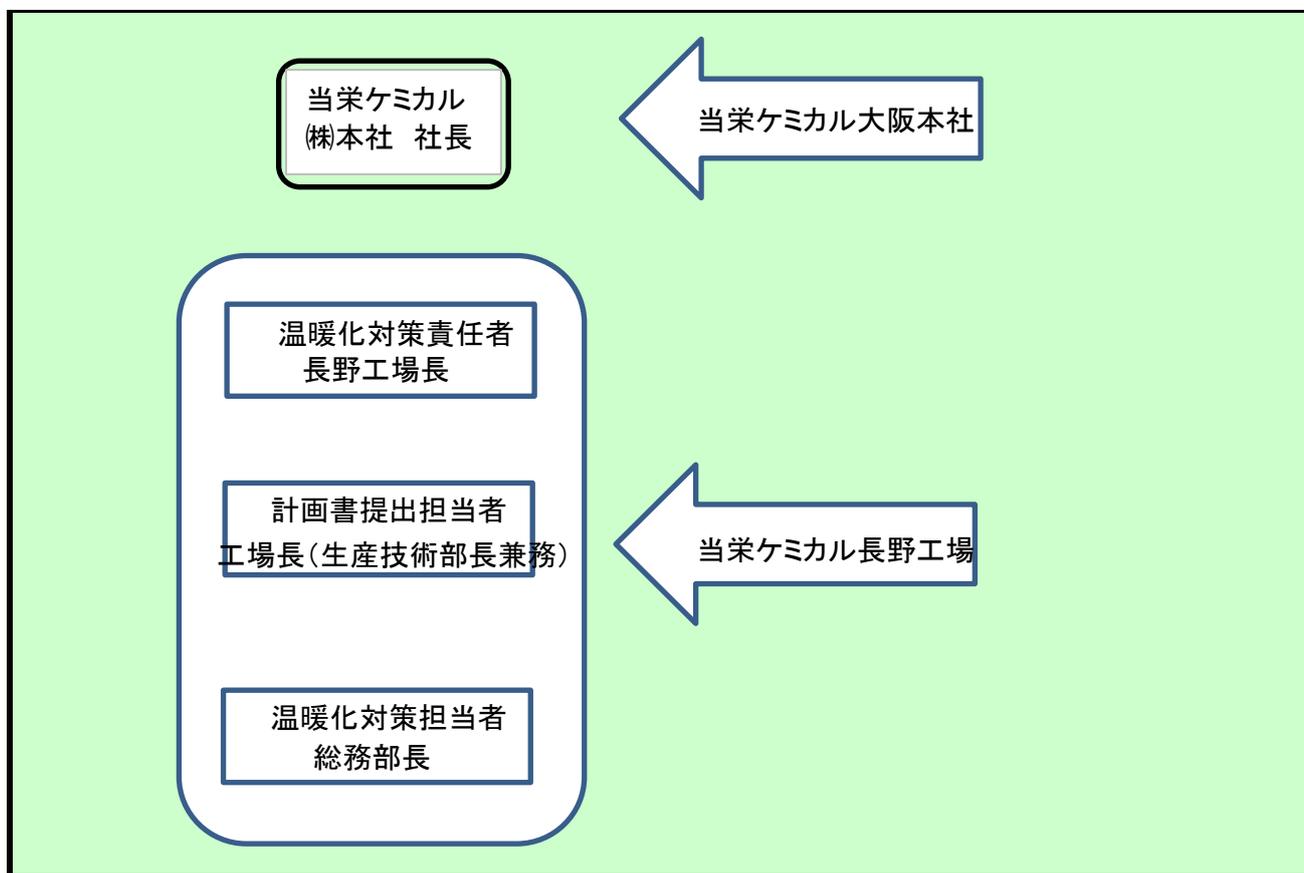
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	当栄ケミカル(株)ホームページよりお願いします。 http://www.toeichemical.co.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

工場内において生産用熱源として消費される化石燃料などを、工場内で生産時に発生する残渣・副産物を熱源燃料に転換

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

毎月一度社長が来場されるので、工場会議に含めて開催

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,777	t-CO ₂	販売	107.00	単位	千万円
2019年度	調整後排出量	4,777	t-CO ₂	基準原単位	44.64	t-CO ₂ /	千万円
目標年度	目標排出量	4,297	t-CO ₂	目標原単位	43.52	t-CO ₂ /	千万円
2022年度	目標削減率	10.04	%	目標削減率	2.50	%	
目標設定に関する説明	台風19号、コロナの影響下より抜け出すことを最優先に考え、2017年度の実績に近づきたい。化石燃料の削減とユーティリティ設備の省エネ化。						
第一年度	排出量	4,682	t-CO ₂	販売	169.00	単位	千万円
	削減率	1.98	%	原単位	27.70	t-CO ₂ /	千万円
2020年度	調整後排出量	4,682	t-CO ₂	原単位削減率	37.94	%	
	削減率	1.98	%				
排出量等の増減理由	長野工場内で生産時に発生する、植物油由来の残渣（ピッチ）を大型蒸気ボイラー2基の主燃料として使用することにより、化石燃料（重油）の使用量削減に務めた						
第二年度	排出量	5,662	t-CO ₂	販売	262.00	単位	千万円
	削減率	-18.53	%	原単位	21.61	t-CO ₂ /	千万円
2021年度	調整後排出量	5,662	t-CO ₂	原単位削減率	51.59	%	
	削減率	-18.53	%				
排出量等の増減理由	一昨年の災害による影響から脱したまでは良いのだが、ユーティリティ関係は災害後簡易的に設置した機器をそのまま使用しており、省エネ機器への移管が進んでいなかった。						
第三年度	排出量	5,188	t-CO ₂	販売	300.30	単位	千万円
	削減率	-8.61	t-CO ₂	原単位	17.28	t-CO ₂ /	千万円
2022年度	調整後排出量	5,188	t-CO ₂	原単位削減率	61.29	%	
	削減率	-8.61	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	化石燃料の代替えとして、工場内で発生する植物油由来のピッチ（蒸留残渣）を大型（8tボイラー2基）ボイラーの主燃料として消費。また電力量削減のため工場休業日（土日）はユーティリティ関係はすべて停止としている。ただし保安上の理由から消火設備関係の水ポンプは運転中。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	2	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	370709	工場の休止日ではユーティリティ関連機器の完全停止	2020～2022	15	2020	1
2	エネ起	380752	現場・倉庫の照明機器のLED化	2020～2022	100	2020	0.5
3	エネ起	320103	化石燃料の削減	2020～2022	250	2020	0.5
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,777	1	4,682	1	5,662	1	5,188
1,500k1未満								
合計	1	4,777	1	4,682	1	5,662	1	5,188

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	1	1	1	1
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	弊社HPに詳細地図を掲載済みなので、タクシー又は先方車をお願いしている
物流の合理化	荷姿の変更（ドラム缶からコンテナへ）

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBTを策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Actionへ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

特になし